



♪遠い遠い遙かな道は 冬の嵐が吹いてるが 谷間の春は花が咲いてる 続く続く明日に続く銀色の遙かな道♪という歌詞で綴られた曲です。

私が中学生の頃、生徒会活動による『歌声』が盛んに取り組まれていて、行事時にはもちろんのこと、朝夕のHR時にも毎日クラス全員で歌っていました。他にも『自由なる大地』『翼をください』『オレンジの花』『林道人夫』『勇気の歌』などなどたくさんありましたが、その中でもこの曲が今でもずっと出てきます。あの頃の思い出と共に。

どれもその当時の私たちにしてみても昔の曲なので、誰が作って誰が歌っているのか知りませんでしたが、多感な思春期ゆえにどれも歌詞が意味深く、かっこよく感じました。

かなり懐かしく、忘れていた40年前を思い出させてくれるそんな曲です。



子どものつぶやき ことば&アート



＜1歳児でくてぐるーぐる男児の不思議発見＞

Yくん「なーい！Kちゃんのかみ、なーい！！」

(Kちゃんが立ち去った後ろ姿を見て)

Yくん「あったー！！」

…Kちゃんは髪が伸びて後ろに1本結いが出来るようになったのです。正面から見たらないように見えたのですね。



2歳男児

＜3歳児女児がお絵描きしていての聞き間違い＞

Yちゃん「あかちゃん、かいてー！」

(あかちゃんを描きながら…)

T先生「赤ちゃんは、“まえかけ”つけてるんだよねー」

Yちゃん「“うまいたれ”つけてるの？！」

…さすが 米沢っ子ですね！



5歳女児



4歳男児



3歳男児

…… ぶっくえんど ……

突然ですが、皆さんにはサンタさんのプレゼント、いつまで届いていましたか？？「今もなお届いているわ～」なんて方もいますでしょうか？！私はと言いますと中学生まで届いていました。夢見る少女だったのです♥サンタさんの顔を見てしまった時はびっくりしましたが…。クリスマス近くになるとおもちゃ屋さんの広告に「コレぼしー！！」と赤丸をつけていました。中学生くらいになるとピアノの楽譜などになりましたが、なんで私の欲しいものをサンタさんは知っているんだろう？と不思議に思っていたあの頃。サンタさんだからこそ知っていたんですよね。10歳の息子もまだサンタさんからのプレゼントを待っています♪きっとサンタさんは張り切ってプレゼント探しをすることでしょう…。クリスマスだからこそワクワク感をぜひ皆さんも味わってくださいね！！

ぶらんこ担当 星野 朋美



ぶらんこ





そのクラスならではの子どもの姿や保育の特徴・・・などなど
のぞいてみたいな♪そこで担任の先生に聞いてみました！！



松ヶ岬保育園の2歳児は、園舎2階へのデビューと共に独立した保育室での生活を行っており、身辺自立を身に付けるこの時期にはとておきの環境が整っています。園舎正面の2階に位置し、保育室の窓・屋上からの眺めは最高で、お天気の良い日は「お外行く」と子どもたちから声が上がる所以、お部屋の前の屋上にござを敷いて遊んだり、机と椅子を出して食事をしたりと子どもたちのリクエストに合わせていろいろなことができるのも魅力の一つです。トイレトレーニングや衣服の着脱などにおいても子どもたちに適した環境で、子どもたちの月齢や発達状況に応じてゆっくり時間をかけて取り組むこともできます。まだまだ個人差の大きい2歳児、子ども達一人ひとりの発達状況に合わせて時にしっかりと見守り、時に一緒に手を添えて関わっています。目に見える発達はもちろんのこと、子どもたち自身の心の中に意欲と自信が湧くように一緒に成長を喜んで過ごしています。

また、年長児が小さな先生となり2歳児と一緒に過ごす「仲よしエプロンの日」という取り組みも行っています。何でもできるお兄ちゃんお姉ちゃんの存在は2歳児にとって憧れの的！自分の所に来てほしくて、一緒に遊びたくて、時々お兄ちゃんお姉ちゃんの取り合いになるほどです。

これから年度後半は、保育形態を変えての生活が始まります。早速幼児組さんとのにこにこバザールを行い、幼児組のお部屋や玩具・お兄ちゃんお姉ちゃんとの関わりをもちました。来年度幼児組進級に向けて、できるだけ不安や戸惑いを少なくし期待感を持って過ごせるように一つひとつ丁寧に取り組んでいきたいと思います。

今ちまたで流行っている、これから流行るであろう、またお母さん自身が流行らせたいものを紹介！！

**みのりちゃんママ（ぴっこう）
佐々木 裕香さん**

ちまたで話題というわけではないのですが、今年の夏から我が家には新しい住人があります。それは「マンゴー」です。マンゴーを種から育てています。そもそも果物が大好きな私、果実を食べた後に残った種を見ては、これって土に埋めたら芽ができるのかなあ…もしかして実がなったりするのかなあ…と、ずっと気になっていました。そして4年前、新婚旅行先のオーストラリアで出会ったマンゴーさん。この子を何とかして育てられないものかと思い「マンゴー 種」で検索。するとどうやら種から栽培することもできるようです。これはもうやるしかない！わくわくドキドキ期待に胸をふくらませ、水栽培を始めてみると数日…腐りました。当時、季節は真冬。南半球の夏から北半球の冬へ、しかも寒冷地山形では寒すぎたのか。とにかく私のとても口マンチックな期待は夢幻となってしまったのでした。

そして今年の夏、コストコから父親が気まぐれで買ってきたマンゴーをもらったので、懐かしいなあと思いながら何となく種を水に入れてみることにしました。季節は夏。十分な気温、十分な日の光。食品パックに入れられた種からはあつという間に根と芽が伸びてきたのです！！その後もすくすく成長し、葉が出て根が窮屈になつたところで鉢にお引越し。少し広くなったところで頑張って生きているようです。これから来る冬に耐えることができるかどうか見守っていきたいと思います。

大きくなった君へ…

大きくなった将来の我が子へ宛てた
お父さんやお母さんからの手紙です。

美空ちゃんのお母さん
菅野 優香さん

二十歳になった美空は今、何をしていますか？警察官になっていますか？六歳になった美空に「将来、何になりたいの？」って聞いたら大きな声で「警察官」と答えたんだよ。「なんで？」と理由を聞くと「カッコいいバイクに乗って、悪い人を捕まえる！」って答えた。白バイ、カッコいいよね！でも、とても大変な仕事だと思う。常に、危険と隣り合わせ。どんな仕事も、楽な仕事はないと思う。だからこそ、どんな職に就いていても、誇りをもって仕事してもらいたいな。夢は大事だと思う。ママは今の仕事に就くのが夢だったんだよ。でも、その夢を叶えたからといって終わりではないよ。

常に「夢」や「目標」をもって全力で頑張って下さい。これから先、困った事、悩み事が必ずあると思う。そんな時は、誰かに相談するんですよ。もちろん親も頼って下さい。もしも今、仕事をしているなら、仕事で上手くいかない事があっても、誰かにハツ当たりしないでね。プライベートで、もしも上手くいかない事、嫌な事があっても、その事を仕事に持ち込まないでね。仕事とプライベートの区別を、きちんとメリハリをつけられる人間になってもらいたいな。だからこそ、自分なりの息抜き法をみつけてね。何歳になっても、パパとママの子供です。本当に自慢の子供です。私達はいつでも、美空を応援しています。

松ヶ岬保育園の看護師さんの情報発信コーナー



おしゃべ~じゅんこせんせい！！ ～スキシケア～

みずみずしく見える0、1、2歳児の肌ですが、実は大人よりも表面を覆っている表皮がずっと薄いので、乾燥しやすいのです。また、皮脂の分泌量も少ないため、バリア機能も低く、汚れや汗などの刺激ですぐに荒れたり、かぶれたりすることもあります。季節の変わり目は乾燥しやすいので、肌に合った保湿クリームなどをこまめに塗つて、水分や脂分を補いましょう。

秋冬のスキンケア3か条

秋冬の乾燥した空気は、デリケートな子どもの肌には大敵です。放っておくと、かゆかゆ、かさかさになってしまいます。「こまめに、丁寧に」日常的なケアをしてあげましょう。

① たっぷり保湿

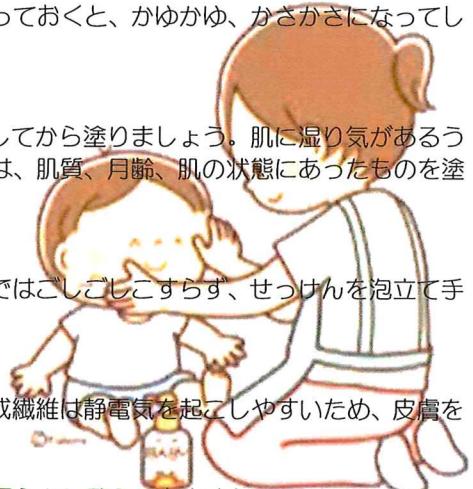
保湿剤は、おふろ上がりや、食事や外出の前後などに、肌を清潔にしてから塗りましょう。肌に湿り気があるうちに使うと、角質層に水分を閉じ込められるので効果的です。保湿剤は、肌質、月齢、肌の状態にあつたものを塗つてあげましょう。

② 清潔を保つ

肌に汚れなどが付いていたらきれいに洗ってあげましょう。おふろではごしごしこそらず、せっけんを泡立て手でやさしく洗つてあげましょう。

③ 刺激を少なくする

直接肌にふれる衣類は綿素材がお勧めです。ポリエステルなどの合成繊維は静電気を起こしやすいため、皮膚を刺激してかゆみのもとになることもあります。



お世話するときに、子どもの肌を傷つけないよう爪は短く切り、滑らかに整えておきましょう。
保湿剤を塗る前は、手を洗いきれいな手で塗りましょう。